

## 日根野スタンダード

つきたい力      自分の考えを豊かに表現できる力      ・      目的に応じて説明できる力

### 導入

### めあての共有化

◇先生と児童でねらいを共有化し、学習の見通しをもたせましょう。



### 展開

### 自分の考えを書く活動の習慣化

◇授業で子どもにしっかり**考えさせましょう**。

◇考えたことを文章で書かせましょう**(書きタイム)**

◇考えたことを言葉で伝えさせましょう **(伝えタイム)**



### まとめ

### ふり返る活動

◇児童が自己の学びを実感できる時間を確保しましょう。

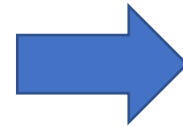
◇ふり返りから、実態の把握、授業改善のヒントを見つけましょう。

# ポイント 学びを実感できる「めあて」「ふり返し」

「**やってみたい!**」から「**できた!**」へ ～1時間の中で、単元の中で自己の学びを実感させよう～

## <めあて>の書き方

- ・1時間の学習のねらいと見通しを持つ。
- ・「やってみたい!」の意欲を引き出す。



## <ふり返し>の書き方

- ・めあてを達成したか自分で見直せる。
- ・「できた!」の気持ちを次の授業の意欲に。

### <呼びかけ型>

「～しよう」

例・立場を明確にして討論をしよう

- ・2つの直線の交わり方を調べよう

### <可能型>

「～することができる」

例・くり下がりが2回あるひき算の筆算ができる

- ・主語と述語を見つけることができるようになる

●～がわかった／わからなかった。

●～ができた／できなかった。

●工夫したこと

●がんばったこと

●つぎにしてみたいこと

「わからなかった!」「できなかった!」  
という気づきも大切なこと。

# ポイント 学びを実感できる「めあて」「ふり返し」

「やってみたい！」から「できた！」へ ～1時間の中で、単元の中で自己の学びを実感させよう～

①単元のめあてを設定

めあて  
おはなしの木をつくって、二ねんせいにおきにいりのむかしばなしをしようかいいよう。

むかしばなしがいっぱい

【ふりかえりのかきかた】  
○...がわかった(わからなかった)  
○...ができた。(できなかった)  
○...がんばった。

日づけ	めあて	マーク	ふりかえり
	むかしばなしのブックトークをきこう。	◎	めあてをたっせいできた。しっかりはなしをきけるようによくやりました。
	四十一ページと四十二ページのむかしばなしのえを見て、はなしあおう。☆(伝)	△	ともだちとはなしあうことがむづかしかったです。 つきは、もっとはなしができるようにならばいいです。
	四十三ページと四十四ページのむかしばなしのえを見て、はなしあおう。おはなしの木を見て、学しゅうけいかくをたてよう。☆(伝)	○	おはなしの木をはやくつくってみたいとおもいました。きのうよりもはなしができたとおもいます。
	おはなしの木の かきかたをしろう。	◎	おはなしの木の かきかたでかくことができました。
	よみきかせをきいて、おはなしの木をじぶんでかこう。★(書)		
	よんだむかしはなしともだちにしらせたらいっまつをえらぼう。おきにいりのほんをもう一どよんでみよう。		
	すきなところが つたわるようにおはなしの木をつくらう。★(書)		
	ともだちのおはなしの木をよんで、おもったことを ふせんにかいてはなしあおう。		
	二ねんせいにおきにいりのむかしばなしをしようかいいよう。		

③1時間ほどのふりかえり

②各時間のめあてを設定

/	/	/	/	/	/	/	/	/	日づけ
									めあて
									マーク
-	-	-	-	-	-	-	-	-	ふりかえり

めあて

◎○○△

--

単元名

名前 (

- 【ふりかえりの書き方】
- …がわかった。(わからなかった)
  - …ができた。(できなかった)
  - …したい。
  - …と思った。

)